

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステップハート			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 22日		～ 令和 7年 3月 1日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 25日		～ 令和 7年 3月 3日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・作業療法士・教員・保育士などの専門職や、様々な経験を経てきた職員が配置され、年齢を問わず、それぞれの視点から意見を言い合える環境であること。	<ul style="list-style-type: none"> 適切な評価に基づき、各児に必要な療育的視点を持った活動を設定するよう意識している。 職員同士がフラットに言い合える雰囲気づくりに留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援や知識の獲得に有効な、書籍や資料について、各職員が積極的に提案し、見識を広げていく。 互いの意見を尊重して、話し合える雰囲気、継続していく。
2	常勤・非常勤を問わず、多くの職員が、活動を企画・提案・実行することができること。	<ul style="list-style-type: none"> 活動の立案・進行を持ち回り制にすることで、療育的視点を持って支援をすることを、多くの職員が学べる体制をとっている。 活動立案・進行役と、それをサポートする側、どちらの立場も理解することができる体制をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の立案の方法、発達、障害、支援方法、職員の動き方などのテーマで、内部研修をする機会を増やしていく。
3	放課後等デイサービスのために設計し、建てられた建物であること。	<ul style="list-style-type: none"> 部屋数は多くないが、設定やテーブルの配置等の環境を工夫することで、様々な用途に、臨機応変に利用している。 備品の色数や、壁面の掲示物の量に配慮することで、注意散漫にならないように、注意すべき所に注意を向けやすいように考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文具や教材等、自分たちで準備・片付けをしやすいような環境を整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	気づいた点や、申し送り事項、保護者様からの連絡、活動目的などについて、日によって共有が不十分なことがある。各児の個別支援計画、直近の取り組みや、気になる点などについての情報が、職員に十分に認知されていないことある。	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員との情報共有の伝達の時間をとれない日がある。 口頭で共有しているのみだと、情報が共有されない職員が出ることがある。 申し送りノートへの未記入、申し送りノートの閲覧忘れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員は勤務時間が限られるため、情報共有の時間をとれない日は、口頭で常勤職員に伝達し、それを常勤職員が申し送りノートに記入する。 その日の活動の目的の共有忘れ、共有すべき情報の申し送りノートへの記入漏れがないよう、各職員が意識していく。 目標や取り組み等に関する情報について、申し送りノートのほかに、よい共有方法があるか検討していく。
2	規定の職員研修以外の研修の種類と時間が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 会議の時間を効率よく使えていない。 テーマの選定そのものができていなかった。 外部の研修に出る機会を十分に作れていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議以外の時間も、有効活用していく。 会議時間の効率化のため、できるだけ事前に資料を作成し、伝達事項・検討事項、個々の意見を事前に考えておく。 個別支援会議を効率よく進行し、他のテーマの研修をする時間をつくっていく。 職員のスキルアップのため、必要なテーマを積極的に選定し実施していく。 外部の研修にも積極的に参加していく。
3	標準化された評価方法の使用が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 使用できる評価方法の調査がまだ十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後調査をして、事業所や利用児様に適した評価方法について検討していく。